



♪♪ふれあいコラム

[バックナンバー]

今、話題の人物をクローズアップ！

2013年9月号 大好きなヴァイオリンを一生演奏していきたい

す ほ う り ょ う す け

ヴァイオリニスト 周防 亮介さん

9月19日、サントリーホールで開催されるフレッシュ名曲コンサート『第22回 Kissポートクラシックコンサート』に出演される周防亮介さんは、東京音楽大学付属高校3年生。ヴァイオリンを始めたきっかけや、高校生活について伺いました。

——ヴァイオリンとの出会いは？

もともと母がピアノ教師で、小さい頃から音楽が身近にありました。それが5歳の時、オーケストラの演奏を聴いて衝撃を受けました。ヴァイオリンの華やかで美しい音色に魅了され、絶対やりたい！と思ったんです。ピアノにしなさいと言われてもあきらめず、7歳から習い始めました。とにかくヴァイオリンが大好きで楽しく練習していましたね。

——海外コンクールに挑戦したのは？

初めての国際コンクールはドイツでした。きっかけは、今より30kgぐらい太っていたこと。先生から「このままでは首に楽器がはさめなくなる。痩せたらドイツに行かせてあげる」と言われ、それから毎週レッスンに行く度に体重計に乗せられて（笑）。結局、痩せませんでしたが、ドイツに行かせてもらって1位をいただきました。

海外のコンクールは日本と違って、互いに励ましあい、すぐに場に溶け込め、演奏も楽しめました。言葉は通じなくても、音楽は世界共通だと実感しました。

——どうやって痩せたのですか？

中3になって、スイスに2週間滞在し10日間連続でレッスンを受けた時は、精神的にも大変で、終わってホテルの体重計で量ったら7kg減。それでこのまま痩せようと（笑）。

——それくらい真剣に取り組んだのですね。その後、東京音楽コンクールで1位、聴衆賞も受賞していますね。

東京音楽コンクールは、東京に来て初めてのコンクールでした。学校にいたら、昼休みに大阪の先生から「課題曲を練習して夜には大阪へ来て」と電話がありました。学校を早退して新幹線の時間まで練習して行ったのですが、それがテープ審査締め切り一週間前。まさか通ると思いませんでしたが、ファイナルでチャイコフスキイを演奏した時には、コンクールを忘れ曲に没頭しました。

——高校生活はどんな様子ですか？

東京では一人暮らしですが、週の半分は母が来てくれます。勉強との両立は…ヴァイオリンが中心になりますがちですね。友達に恵まれ、演奏会に来てくれたり、期末試験の時には夜中まで勉強を教えてくれたり。支えられています。

——今度の演奏会はいかがですか？

演奏するメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲は、情緒的な旋律の中に、燃え上がる炎のような情熱が感じられる曲。希望の光に向かって突き進むような第三楽章など大好きです。また、サントリーホールはずっと演奏したかった場所。こんなに早く実現するなんて感激です。そんな感謝と感激を込め、演奏をしたいと思います。ぜひ、お越しください。

周防さんが出演する左記の公演のチケットのお申込み・お問合せは、
サントリーホールチケットセンター TEL. 0570(55)0017
または、チケットぴあ TEL. 0570 (02) 9999 (Pコード: 199-183) までお願いします。



■プロフィール

1995年京都生まれ。7歳よりヴァイオリンを始め、国内コンクールでの受賞多数。2009年第13回クロスター・シェーンタール国際ヴァイオリンコンクール第1位、およびヴィルティオーゾ賞・EMCY賞。2011年第9回東京音楽コンクール第1位、聴衆賞。高校に在学しながら数々の演奏会で活躍中。

▲このページのトップへ

| サイトマップ | みんなの声 | Kissポート財団について | 情報誌「Kissポート」について | 品質・環境への取り組み | 個人情報保護について[PDF] |

Kissポート財団 

(公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コムニティーブラザ

電話 : 03-5770-6837/Fax : 03-5770-6884 お問い合わせ : fureai-info@kissport.or.jp



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。当財団の許可なく複製、転載は出来ません。